



玩具会社が市立病院に寄贈

株式会社エド・インターが12月17日、市立御前崎総合病院内のひまわり保育園におもちゃを寄贈しました。同社の自社製品を保育園や養護施設などへ寄贈する「おもちゃでみんな笑顔になろう」プロジェクトによるものです。寄贈式には、プロジェクトに賛同するジュビロ磐田のマスコットキャラクターであるジュビロくんとジュビィちゃんも訪れました。

◀寄贈されたおもちゃによるこぶ保育園利用者



反射材の着用を心掛けよう

市と菊川警察署、交通安全協会菊川地区支部は12月17日、ベイシアFoods Park御前崎店で交通安全啓発活動を実施しました。

冬は日没時刻が早くなるため、早めのライト点灯や反射材の着用を呼び掛けるもの。さくらこども園の園児4人も活動に参加し、「車に気をつけてね」と元気よく声掛けをしながらチラシや反射材を手渡しました。

◀来店者に反射材などを手渡す園児



県知事賞受賞を市長へ報告

「第99回静岡県畜産共進会」の第3部(黒毛和種去勢)で県知事賞を受賞した株式会社すずき牧場の鈴木雅樹代表取締役(朝比奈原)が12月18日、下村市長に受賞を報告しました。

同社は第2部(黒毛和種牡)においても優秀賞6席を受賞。鈴木代表取締役は「品質向上のため、データに基づいて常に研究している」と日々の努力を語りました。

◀下村市長は「今後もおいしい食肉を提供してほしい」と話しました



災害時における協定を締結

市とALSOK株式会社は12月18日、「災害時における避難所等の安全確保等に関する協定」を締結しました。

これにより、災害時には同社による避難所の警備や運営支援などを受けることが出来ます。同社浜松支社の中澤朋博支社長は「いつどこで災害が起きるか分からない時代です。災害に備えて地域社会に貢献していきたい」と話しました。

◀下村市長は「安心して暮らせるまちを共に目指したい」と話しました



西岡きぬさん長寿のお祝い

12月25日に100歳の誕生日を迎えた西岡きぬさん(佐倉二区)に、下村市長から祝い状や花束が贈られました。

15歳から60歳まで、浜岡郵便局で電話交換士として働いていたきぬさん。くよくよせず、前向きな性格だといいます。きぬさんは「これからも元気に過ごしたい」と笑顔を見せました。

◀きぬさんとお祝いにつけつけた弟の巖さん



ウインドサーフィンで入賞

昨年8月に開かれた「2025ジュニア・ユースウインドサーフィン選手権」と12月に開かれた「第22回全日本アマチュアスラローム選手権」で好成績を収めた小学生から中学生までの選手が12月26日、下村市長に結果を報告しました。

下村市長は「経験を積み重ね、目標をもって活動していることが素晴らしい」と称えました。

◀御前崎ウインドサーフィングクラブに所属する6人が入賞しました



プロサッカーチームが合宿

「モンテディオ山形」が1月7日から18日にかけて、御前崎ネクスタフィールドで10回目となるトレーニングキャンプを実施しました。

9日の歓迎式では、市と静岡カントリー浜岡コース&ホテルから、遠州夢咲牛などの記念品を贈呈。松坂副市長は「キャンプ地に選んでいただき光栄。実りあるものにしてください」とエールを送りました。

◀J1昇格を目指す同チーム



池高生が干し芋作りを体験

池新田高校3年生の家庭コースを選択している生徒15人が1月14日、干し芋作りを体験しました。

同コースの生徒は、まちの魅力発信をテーマに干し芋やその他特産品を使ったレシピの作成、干し芋加工時に廃棄される皮の用途の研究などをしてきました。体験活動を受け入れた齋藤丈雄さん(新神子区)は「若者が干し芋に興味を持ってくれてうれしい」と話しました。

◀蒸してスライスされたサツマイモを干すために並べる生徒